

9/20 来場者 700万人達成
道の駅グランテラス筑西



道の駅グランテラス筑西の来場者が開業から6年2か月で来場者700万人を達成しました。700万人目にとなったのは市内(外塚)の高原さん家族。「記念の節目に選ばれてとても驚きました」と笑顔で話しました。

9/20 下館一高生が
筑西のみどころを英語で紹介



下館第一高等学校で、外国人観光客向けの英語版「筑西みどころマップ」の提言発表会が行われました。筑西市の魅力をグルメマップにまとめたり、滞在プランの提案をしたり、高校生らしい視点が光りました。

11/13 稲荷町の神輿を修繕
宝くじ社会貢献広報助成事業



令和7年度一般コミュニティ助成事業を活用し、稲荷町自治会が大神輿と子ども神輿を修繕しました。この事業は(一財)自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業としてコミュニティ活動の充実・強化を目的に助成しています。

9/28 伊達市で靈山太鼓まつり
筑西市産の梨で市を PR



友好都市の福島県伊達市(須田博行市長)で、約350年の歴史がある靈山太鼓の力強い演奏が魅力の、靈山太鼓まつりが開催されました。筑西市も出展し梨などの販売をとおして両市の交流をPRしました。

10/4 伊佐氏と伊達氏のつながり
伊達氏の先祖の地について学ぶ



中館地区が伊達氏の先祖の地であることを広める活動を行っている常陸朝宗会(中澤一巳代表)が協働のまちづくり支援事業の補助金を活用して、「伊佐氏と伊達氏」をテーマに講演会と観音寺での現地視察を行いました。

10/20 園児が力いっぱい収穫体験
秋の味覚さつまいもに笑顔



J.A.北つくば関城青年部(田崎和人部会長)が子どもたちに食に関する知識をつけてもらおうと、暁保育園(松本俊子園長)、英光幼稚園(松本常幹園長)を招いて、いも掘り体験を行いました。園児たちは一所懸命土を掘り分け、大きく育ったお芋を収穫していました。

10/15 地域の新たな魅力に
「ふたマス!!!!!!」設置



『アイドルマスター』シリーズ20周年を記念したマンホールプロジェクト「ふたマス!!!!!!」で「アイドルマスターSideM」渡辺みのりがデザインされたマンホール蓋が、下館駅北口ロータリー付近に設置されました。訪れたファンは「好きなキャラクターがこういうかたちで街に残るのがうれしい」と写真を撮って思い出に残していました。

10/19 筑西市文化祭
たくさん的人が芸術の秋を楽しむ



第21回筑西市文化祭が下館・関城・明野・協和それぞれの地区で開催されました。期間中は絵画やいけばななどの作品展示のほか、四つ竹健康おどりや民謡などたくさんの舞台発表が行われました。茶会や竹とんぼづくりなど体験できるものもあり、子どもから大人まで幅広い世代の人を楽しませました。

筑西市 20周年記念特集 Vol. 9



10/13 スポーツフェス&文化フェス
新しい体験との出会いの場

スポーツと文化芸術の鑑賞・体験ができるイベントがザ・ヒロサワ・シティ体育館で開催されました。会場では、ビーチボールバレー、ボッチャなどさまざまなスポーツや大正琴、いけばななどの体験ブースが設けられたほか、作品展示やオカリナなどの舞台発表も行われました。訪れた人は「初めての体験などもあり、知らなかった魅力に触ることができました」とスポーツ・文化の秋を楽しんでいました。



10/11 SLもおかに『アイドルマスター』シリーズコラボヘッドマーク掲出
ファンで下館駅にぎわう

市誕生20周年と『アイドルマスター』シリーズ20周年を記念して、下館駅と茂木駅を結ぶSLもおかにコラボヘッドマークが掲出されました。当日はあいにくの雨模様にもかかわらず、たくさんのファンが特別な瞬間をひと目見ようと集まり、お気に入りのぬいぐるみと写真を撮るなど楽しんでいました。



スポーツ

Sports News

第48回全国ジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会茨城県予選会

7月26日・27日 笠松運動公園山新
スイミングアリーナ（ひたちなか市）



【11歳男子50m自由形】
優勝 廣瀬 大悟（大田小5年）
【14歳男子50mバタフライ】
優勝 廣瀬 晃大（下館南中3年）

9/25 硬式野球の全国大会 チームでつかんだ優勝



第11回全国女子中学生硬式野球選手権大会の優勝チーム「エイジェックユース」の齊藤恋璃さん・琉璃さん姉妹と大島琉璃さんが市役所を訪れ、その喜びを市長に報告しました。



Think globally, Act locally ~地球規模で考え地元から行動する~

11月15日から26日の12日間、日本初開催となる「東京2025デフリンピック」が行われ、私も応援に行ってきました。デフリンピックのデフ(Deaf)とは、英語で「耳がきこえない」という意味でデフリンピックはきこえない・きこえにくい人のための国際的スポーツ大会です。第1回は1924年にフランスのパリで開催され今回は100周年の記念すべき大会です。



デフリンピックキャラバンキャラクターを迎える設楽市長

* 2025国際オンライン型競技 空手道選手権大会

7月31日 オンライン大会
【6~7歳男女混合上級の部】3位

* 2025 茨城県空手道選手権大会 JOSOカップ

8月10日 アルテンジャパン武道館（水戸市）
【型 小学1・2年生の部】優勝



柴田 陽葵（養蚕小2年）

第3回茨城ダイハツ低学年・未就学児大会（バドミントン）

9月20日 霞ヶ浦文化体育会館
(土浦市)



【女子3年の部】
優勝 高松 来実
(明野五葉学園3年)

9/21 みんなでつくろう、みんなの地域医療 ちくせい地域医療シンポジウムを開催



地域医療を守っていくために現状を見つめ、これからを考えるシンポジウムを、講師の自治医科大学地域医療学部門小谷和彦教授と市内の医療関係者をパネリストに迎えて開催しました。当日は市民や行政、医療従事者の約160人が参加し、本市の地域医療の現状について理解を深めました。参加者からは「すべての人が一丸となって地域医療に取り組む大切さを改めて認識した」などの声があり、学びの機会となりました。

9/21 都市農村交流事業

蔵前小の子ども達が里山でおもいっきり自然体験



連携協定を結ぶ東京都台東区から、区立蔵前小学校の児童・保護者約100人が、五郎助山を訪問しました。NPO法人里山を守る会（竹澤寛理事長）の協力のもと、子ども達は火起こし体験やイナゴ取りなど、普段はできない遊びをとおして自然を満喫しました。

9/30 道の日道路美化清掃 約250袋分のごみを回収



茨城県建設業協会筑西支部（白田 唯雄支部長）と筑西土木事務所（中川 一郎所長）、筑西市・結城市・桜川市の3市の合同により、「道の日」道路美化清掃活動を約200人で実施しました。

10/11 126人が参列 3年に一度の戦没者追悼式典



先の大戦における本市関係の戦没者などの御靈に対して、追悼の意を捧げるとともに、ご遺族のご苦労に対して深い敬意を表し、恒久の平和を祈念する戦没者追悼式を行いました。

10/12 デフリンピックをPR 栃木県からのバトンを受け取る



聴覚に障がいのある人のための国際スポーツ大会「東京2025デフリンピック」が日本で初めて開催されることに合わせ、PRを行うキャラバンカーが本市にやってきました。

9/17 とやま果樹園 今年のおいしさを報告



昨年度、県ぶどう連合会青年部主催の「シャインマスカット果実品評会」で最優秀賞と外観賞を（ダブル）受賞したとやま果樹園（外山翔太代表）が、今年の出来を市長に報告おいしさをPRしました。

10/14 第3次市総合計画策定へ 筑西市総合振興審議会を開催



同会開催にあたり、市長から会長（吉田勉教授）の常磐大学総合政策学部吉田勉教授に諮問書を手渡しました。今後、令和9年度からの第3次筑西市総合計画について審議していきます。

10/21 地域に役立てて (株)エーアンドエー茨城から寄付



（株）エーアンドエー茨城（植手啓介代表取締役社長）が市役所を訪れ、地域社会の課題解決に役立ててほしいとして100万円の寄付をいただきました。